

渋谷スタディクーポン

大学生ボランティアの活動について (ブラザー・シスター養成研修参加者募集のご案内)

実施運営：スタディクーポン・イニシアティブ

協力：渋谷区



みんなの力で**教育格差**をなくそう。



お金が理由で塾に通えない高校受験生に
スタディクーポンを届けたい



渋谷スタディクーポン

ブラザー・シスター活動参加のお願い

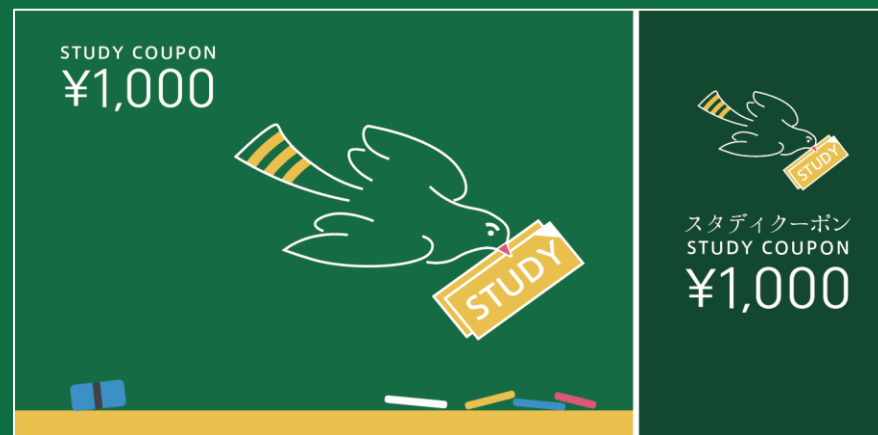


スタディクーポンを利用する渋谷区の子ども（中学生）と毎月面談を行い進路や学習の相談に応じる大学生ボランティア（＝ブラザー・シスター）として、教育格差をなくす活動に参加してください。

※活動に参加するためには研修を受講いただく必要があります（P7参照）

スタディクーポン・イニシアティブとは

お金が理由で塾に通えない渋谷区内の低所得世帯の中学3年生に、登録された学習塾等で利用できるクーポン20万円分を提供する活動です。日本の教育格差をなくすことを目指しています。



ブラザー・シスターとは



子どもたちが安心してスタディクーポンを利用できるように、毎月の面談を通して進路や学習の相談に応じる大学生ボランティアのことを「ブラザー・シスター」といいます。1年間の活動は大きく分けて2つあります。

活動①：子どもとの面談



+

活動②：専門家による研修



養成研修（3月開催）と定期シェアリング（5月以降隔月開催）があります。



子どもとの面談活動について



ブラザー・シスターの面談

- ・子ども一人につき毎月1回、1年間継続して面談を行います。
- ・面談は1回30分。毎月の面談日程は子どもとブラザー・シスターの間で個別に調整することが可能です。
- ・ブラザー・シスターが1年間受け持つ子どもの人数は、1人～3人程度です。希望に合わせて受け持ち人数を調整することができます。

活動期間

2018年4月1日～2019年3月31日

(面談回数は計12回予定)

面談交通費

実費を支給いたします

※給料などは発生しません

面談場所

キズキ共育塾代々木校 (NPO法人キズキ事務所)

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-29-7 ドルミ御苑202

(地図) <https://kizuki.or.jp/aboutus/map/>

※代々木駅・新宿3丁目駅から徒歩3分です。

※面談場所は、基本的には上記の場所になりますが、諸事情によって別途設ける場合もあります。



研修制度について



様々な背景をもった子どもたちと信頼関係を築いていくために必要な知識やスキル、考え方を学んだり、ブラザー・シスター自身が活動をするうえで生じた不安や悩みを解消し、安心して面談に取り組んでいただくために、専門家によるサポート体制（＝研修制度）を整えています。

研修①：養成研修（1回）

日程：2018年3月3日（土）10時～18時
会場：株式会社CAMPFIRE会議室
東京都渋谷区渋谷2丁目22-3
渋谷東口ビル 5F
内容：講義やワークショップ等を通して、
基礎的な知識やスキル等を学びます。
（詳細はP7）

研修②：定期シェアリング（隔月）

日程：2018年5月・7月・9月・11月・1月・3月
※1回あたり2時間程度
※日時は後日調整。
会場：東京都内の会議室
内容：担当する子どものケースについて仲間の
ボランティアや専門家と共有し、助言を
受けます。

ブラザー・シスターの活動に参加するためには、養成研修の受講が必須です。定期研修も原則必須参加ですが、学事日程など、やむを得ない事情で参加できない場合は、個別に応じます。

※この他にも、必要に応じてフォローアップのための研修を開催する場合があります。



ブラザー・シスター養成研修

2018年3月3日(土)10時～18時@株式会社CAMPFIRE／定員30名／参加費無料



研修カリキュラム（予定）

	研修内容	講師	形式
①	アイスブレイク・ねらい作り	調整中	ワーク ショップ
②	子どもの貧困・教育格差／スタディクーポン・イニシアティブの活動について	今井悠介（チャンス・フォー・チルドレン代表理事）	講義
③	子どものキャリア支援について	安田祐輔（NPO法人キズキ 理事長）	講義
④	コミュニケーション実習・グループワーク（内容は調整中。過去の例：傾聴訓練、ロールプレイ等）	小澤いぶき（NPO法人PIECES） 青木翔子（NPO法人PIECES）	ワーク ショップ
⑤	振り返り	調整中	ワーク ショップ

※研修内容及び講師は当日変更する場合がございます。



研修講師紹介



小澤 いぶき

NPO法人PIECES 代表理事
児童精神科医/東京大学先端科学技術研究センター研究員

医学部医学科卒業後、精神科医を経て、児童精神科医として複数の病院で勤務。トラウマ臨床、虐待臨床、発達障害臨床を専門として臨床に携わったのち、2015年より、さいたま市の「インクルーシブモデル」開発のアドバイザーを務め、2016年にPIECESを設立。2017年3月には、世界各国のリーダーが集まるザルツブルグカンファレンスに招待され、子どものウェルビーイング達成に向けたザルツブルグステイトメント作成に携わる。



安田 祐輔

NPO法人キズキ理事長
スタディクーポン・イニシアティブメンバー

1983年神奈川県生まれ。国際基督教大学（ICU）教養学部国際関係学科卒。大学卒業後、総合商社勤務を経てキズキを立ち上げ、現在同代表を務める。中退・不登校経験者向けの受験塾、大手専門学校約6校での学習センター運営に加え、高校・専門学校を中心とした教職員研修、新宿区での就労支援事業、ベトナムでの海外インターンシップ事業など様々なアプローチで若者の後押しをしている。



今井 悠介

公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン代表理事
スタディクーポン・イニシアティブ代表

関西学院大学在学中に教育NPO団体において、子どもの体験活動や不登校児童等の支援に携わる。卒業後、株式会社公文教育研究会（KUMON）に入社し、子どもの学習指導や学習教室のコンサルティング業務に従事。東日本大震災後、チャンス・フォー・チルドレンを設立し、代表理事に就任。低所得世帯の子どもへのスタディクーポン事業を展開し、日本の教育格差是正に取り組む。全国子どもの貧困・教育支援団体協議会幹事を兼務。



青木 翔子

NPO法人PIECES 理事

東京大学大学院学際情報学府修士課程修了。自身がシングルマザー家庭に育ったことから、教育格差を肌身で感じ格差問題に関心を持ち、どんな子どもも尊重される社会を目指して研究・実践を続けている。学習環境のエスノグラフィ、インタビューをはじめとする質的調査の方法を専門とする。PIECESではリサーチとワークショップを組み合わせた人材育成プロジェクトを担当。株式会社MimicryDesignでリサーチャーも兼務。



ブラザー・シスターの声

(運営団体チャンス・フォー・チルドレンにおける東北の事例)



「本当の妹のような存在です」

東北学院大学 教養学部3年生 (当時)

私は小学生の頃、家庭教師の先生に、勉強だけでなく、学校の話や悩み事なども聞いてもらったりしていて、一人っ子だった自分にとっては本当のお姉さんのような存在でした。その憧れから、ブラザー・シスターの活動に参加したいと思いました。

当初は、「私にできるのだろうか？」という不安もありましたが、この活動では専門家の先生による研修制度があるおかげで、しっかりと準備をして臨むことができています。

現在担当している女の子とは、2回の電話面談(※)を通して「ディズニーが好き」という共通点を見つけたので、3回目の面談で初めて会った時も、自然に打ち解けることができました。電話面談の際に薦めたテキストが家にあったのは嬉しかったですね。今では本当の妹のような存在です。

彼女は今年、高校受験を控えているので、今後は進路の面でも力になりたいと思っています。「保育士になりたい」という夢を持っているので、どんな道があるのか色々調べているところです。これからも応援していきたいです。



※東北では、沿革のクーポン利用者がいるため、電話面談も行っていましたが、渋谷区の取り組みでは、全て対面での面談の予定です。





ブラザー・シスター養成研修 お申込方法

下記のWEBフォームより、必要事項を入力し、送信してください。
後日、参加決定メールを送信いたします。
※ただし、定員を超えるお申し込みがあった場合、お断りすることがあります。

ブラザー・シスター養成研修参加申込フォーム

URL http://bit.ly/sc_brosis

子どもの教育格差をなくすために、
皆さまのご参加を心よりお待ちしております。





参考資料



経済格差による教育格差をなくしたい



親の年収が低いと高校受験生の塾代など、学校外教育支出も低くなる

■ 「世帯収入（税込年収）」と学校外教育支出の関係（中学3年生）



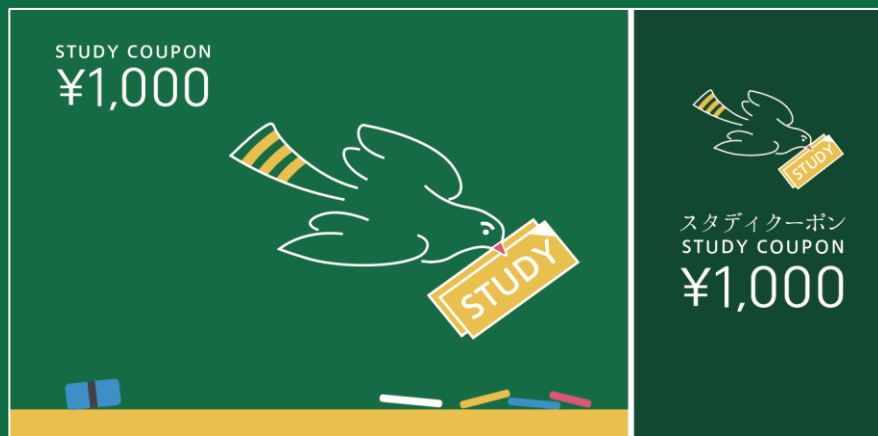
※学校外教育支出費が5千円未満という回答は2,500円として、5万円以上は50,000円として各世帯収入ごとの平均値を計算。

出典：国立大学法人お茶の水女子大学『平成25年度全国学力・学習状況調査（きめ細かい調査）の結果を活用した学力に影響を与える要因分析に関する調査研究』より作成

お金が理由で塾に行けない高校受験生たちに スタディクーポンを届ける

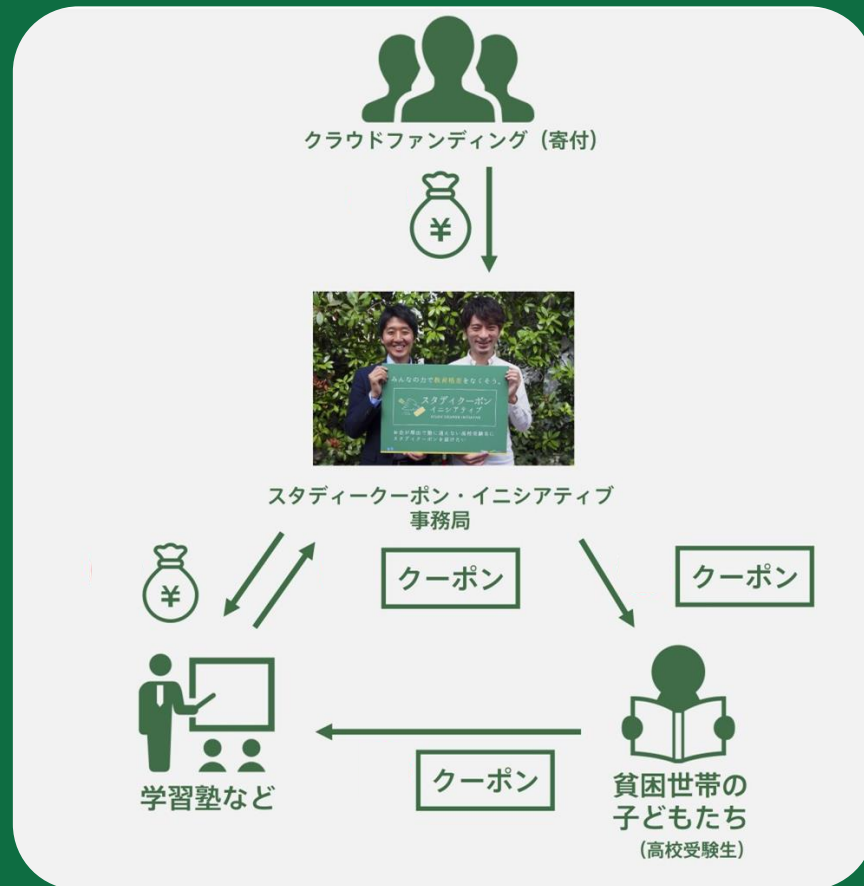


(提携教育機関で利用できるクーポンを年間20万円分提供)



スタディクーポンの特長

- ①クーポンの用途は教育サービスに限定
- ②クーポンは幅広い教育機関で利用可能
- ③ボランティアによる定期的な進路相談



教育格差をなくすために スタディクーポンイニシアティブ発足 第一弾プロジェクトは渋谷区と協働



プロジェクトリーダー
今井 悠介
(チャンス・フォー・チルドレン代表理事)



プロジェクトメンバー

プロジェクト運営

<共同事業体>

- ・公益社団法人
チャンス・フォー・チルドレン
- ・NPO法人キズキ

パートナー

- ・新公益連盟
- ・NPO法人ETIC.

サポーター

- ・スマートニュース株式会社
- ・株式会社CAMPFIRE



長谷部渋谷区長



クラウドファンディング※で集まった 寄付金1400万円を元手に事業スタート (※2017/10/12～11/30まで)



お金がなくて塾に通えない中学生に、みんなの力で「スタディクーポン」を届けたい！

Category : ソーシャルグッド User : imal_studycoupon



集まった支援総額

¥14,053,500

パトロン数

731人

募集終了まで残り

終了

現在140% / 目標金額10,000,000円

このプロジェクトは、2017/09/21に募集を開始し、731人の支援により14,053,500円の資金を集め、2017/11/30 23:59に募集を終了しました

スタディクーポン
イニシアティブ
STUDY COUPON INITIATIVE



メディア掲載情報

日本経済新聞 (2017.10.12)

テレビ朝日 (2017.10.12)



その他メディア

NHK、日本テレビ、フジテレビ、TBS、朝日新聞、読売新聞、産経新聞、東京新聞、時事通信、共同通信、J-WAVE、TBSラジオ 他多数